



まりさのくびわ

For adult only

成人向け



きろ

…沙

…理沙。

おきろ
魔理沙！！

…え？

え？

何だ？

やっと起きたか。

ここはどこだ？

どうだ？
魔理沙
生まれ変わった
気分は。

う、生まれ変わり？
なんだよ、それ、
それに誰だよ、コイツ…

…はあ？
何のことだ？？

私の部屋…？
何で、私は寝てたんだ？

どういう意味だよ。

まだよくわかって
ないみたいだな。

それになんだ、
この格好……

まあいい。
そのうち、いやでも
思い出すだろう。

とりあえず、これを舐めてみる。
何か思い出すかもしれないぞ？

は
!!!?

え
!??

何、言ってるんだよ、コイツ！

なっ……！

返事は「はい」だぞ、魔理沙。

え、え！?

く、口と身体が勝手に……

は……い。

え、いやっ……
まっ……てくれ！

そんな……

だめっ

あ……いやっ……

ぷる
ぷる

っ…いや、いやあ！
こんな…の…。

ん…

ちゅっ、
ちゅっ、

返事はどうした？

ちがう

は、は…い

こんなの、好きじゃない。
好きなわけない…。

あ…んう…

気持ち悪い…！

う…あつ

そうそう、
存分にしゃぶりつくせよ。
魔理沙はチ○ポ舐めるのが
大好きなんだよな？

う…ち、ちがつ…！

こんな…臭くて、苦くて…
太く…長くて、熱いの…。

ダメだ

身体が止められない…。

嫌なのに、
すごく嫌な…ハズ、
なのに…

ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ

ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ

いん
いん
いん



でも...

んっ♡

これ、舐めるの...
なんか...



なんか...



良い...かも...?

あむ...

んん...



ふふふ...
首輪の効果は絶大だな。
こいつは良いマジック
アイテムを手に入れた
もんだぜ。

首輪...?

そうだ!
この首輪だ。
これのせいで、私は...



そう... 香霖堂に向かっている途中、
コイツにいきなり、捕まって
マジックアイテムをつけられたんだ。

な、なんだ、これ!!?

くっ!
はなせよ!



眠れ、
魔理沙。

っ...

それから気づいたら、
ここにいて...

どうだ？
チ○ポしやぶりが、大好きに
なってきただろ？

そんなわけあるか！

こんなの
好きなわけない

舐めてるのが、
嬉しくなんてなっていない。

そんなに夢中に
くわえ込んで、

もつと舐めたい
なんて考えてないぜ

返事しろ。

んっ…
ふあ…い。

違う…
そんなわけない

だめ…だ
こんな気持ち…

んっ…
んっ…
んっ…!

大分、良くなってきたな…
よし、じゃあ、次だ。

このきもち…
ちがうんだ…

本当に魔理沙は
チ○ポが大好きだな。



認めたらダメだ...

そうそう、ちゃんと挟んで、奉仕しろよ？
お前の大好きなおち○ポ様だぞ？

.....

返事

ぐ...はいっ。

認めたら...私が...
わたしがわたしで
なくなっちゃっ!!

むにゅ...



また、心では違うって分かってても、
身体が命令どおりに動いて...

あ...胸が...
あ、あつくなつて...



んっ...

勝手に、胸が...
おっぱいが...
気持ちよくなつてく



魔理沙はおっぱいを
擦られるのも
大好きなんだよな？

なっ...!!
んなわけあるか!!
馬鹿っ!!

びく



頭が真っ白になるくらい、
気持ちよくなるって
いつも言ってたじゃないか

びく

まただ

っ...!!
なっ...!!
言つて...んだ





だから...
でも...

う...あ...だめ...



くっ...あつ...!

ずいぶん気持ち
よさそうだな。

あつ...ち、ちがうぜ、
んんっ...これは...
お前がっ!

これは、首輪の力で、
コイツに作られた感情だ。
だから...

ほら、大好きな
チ○ポしゃぶりも続けろよ。



そうそう、ちゃんと
おっぱいも使えよ

おっぱいが擦れるのが、
気持ちよくなってる...

んっ...



どんどん、しゃぶれる
のが、すごくうれしくて、

あ...

口の中でチ○ポが震えるのが
とても愛しくて…

んっ、んっ

ちゅっ、ちゅっ、ちゅっ、ちゅっ

おっぱいの中で
動かされると
切なくなっちゃう…

ぎゅっ

あぁっ…あぁ

こんなの
嫌だけど…

ダメなのに…

変えられてる
ってわかってる
のに…

思っちゃう…
考えてちゃうんだ

ちゅっ

ちゅっ、ちゅっ、ちゅっ

もっ…
もっといっぱい…
って…

んぶっ…んっ!!

くっ…だすぞ!!

やっ、だめ…
まって

飲めよ
魔理沙の大好物の精液だぞ

ちゅっ、ちゅっ、ちゅっ

まだ…もっと…

んっ、んっ、んっ!

いっぱいしたい
のにつ……!!

んんっ!
……んむっ……



っ……!
でてる……たくさん……

うあ……うえっ……



精液が……
お……おいしいなんて……

んんっ
……んむっ……

んんっ……



なんで……
どうして……こんなのが……

んんっ

う……こんな……
ドロドロして……
にがくて……くさいのこ……

うう……んぐっ……

あ……♡

んんっ……

そうだ、残さず飲んで
ゆつくり味わえよ。





そろそろこっちに
挿入れて欲しく
なってきただろ？

なっ...そ、そんな
わけあるか!!!

返事。

っ...!!
は...い...

もうトロトロだぞ
素直じゃないな、
魔理沙は。

ちがつ...だめっ
怖いっ...

いや、待つて!
今、挿入れられたら...



大丈夫だって。挿入れられると、
さつきとは比べ物にならないくらい
気持ちよくなれるぞ。

また

変えられちゃう...

やっ!

ああっ



ほら。

私が、私じゃなくなる

あっ、あっ...

だめっ

挿入ってくる...
きちゃうっ!

ふああっ





それいいい、
なくなっちゃう…

どうだ、気持ちいいだろう？

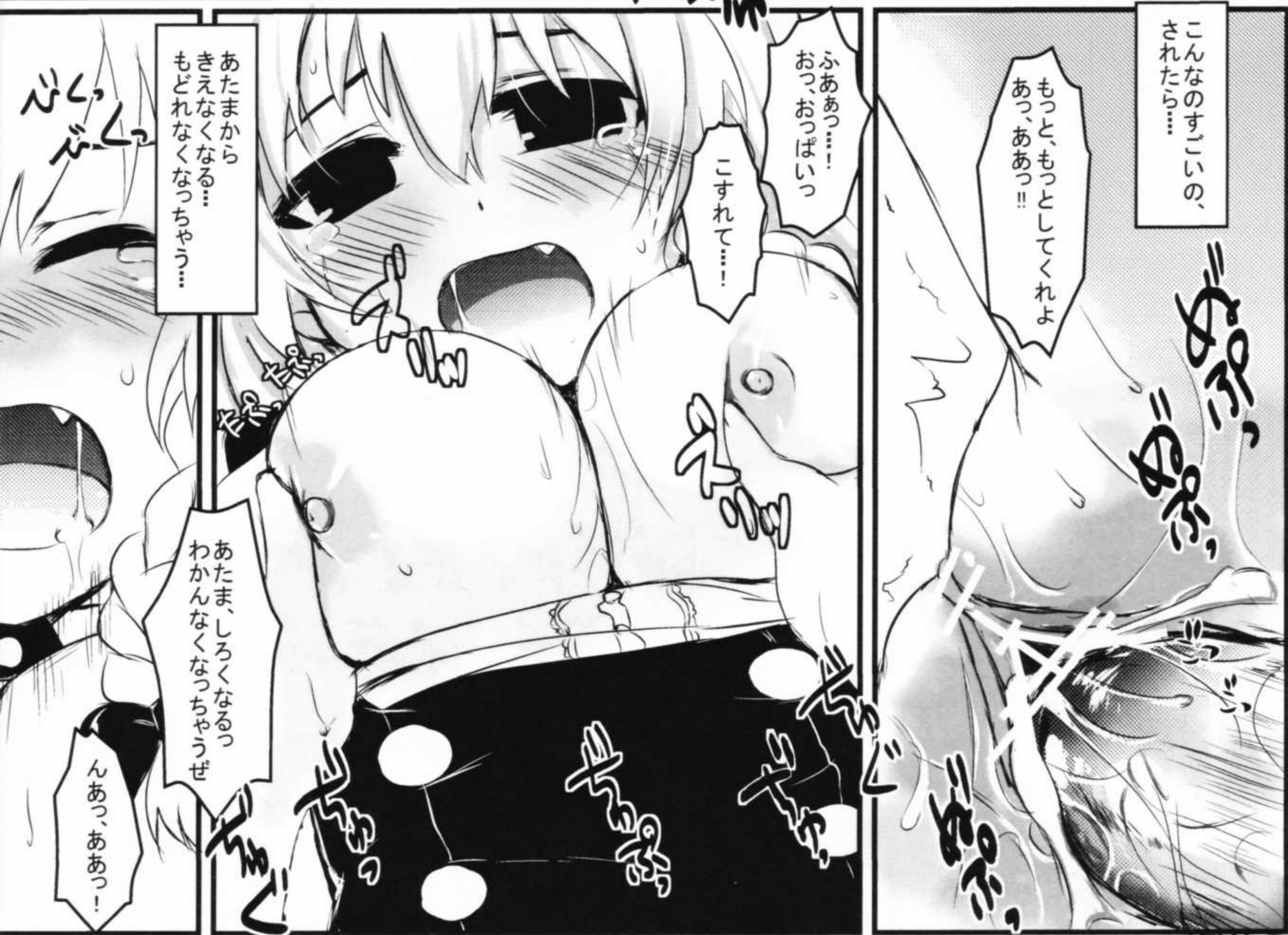
やっ…

あっ

きもちいいっ
きもちいいぜ、これ…
ああっ、あっ！

いやなきもちが
なくなつて…

あっ、ああっ
すこいぜっ



こんなのすこいの、
されたら…

もっと、もっとしてくれよ
あっ、ああっ！！

ふああっ…！
おっ、おっばいっ

こすれて…！

あたまから
きえなくなる…
もどれなくなっちゃう…

あたま、しろくなるっ
わかんなくなっちゃうぜ

んあっ、ああっ！



わたしじゃない、わたしが…
ほんとうのわたしになっちゃうつ

ああ……っ!!



き、きもちいい……

あう……あう……

き、きもち……

とまんない

な、なあ…

ん、どうした？

だいすきなきもちがどんどん
あふれてきて、ほかのことが
どうでもよくなってくる…

その…

だから…

だから

言わないとわからないぞ

こ、このまま、もう一回…
してくれよ…
もっといっぱい、突いて…

わたしがじぶんから
こんなことするのは…

お、おま○この奥まで、
チ○ポでかき回して
欲しいんだ…

ようやく
素直になったな、魔理沙

う…だって…

お前のチ○ポが気持ち
良すぎるのが悪いんだぜ

すっかり、チ○ポが大好きに
なったみたいだな
かわいいぞ、魔理沙…

あっ…ああっ！

好き…好きい！

きもちいい！

あたりまえで…
ふつうのことなんだぜ

奥付

誌名： まりさのくびわ

初版発行： 2011/03/13

印刷： 島プロ

著者： トイチ

サークル： すこっちい

連絡先： <http://asanebou.ninja-x.jp/>